

新 年度予算 より効果的・効率的な予算を目指して

平 成31年度は、新ごみ処理施設や新総合体育館といった大型事業が本格化します。このような状況のなか、限られた財源で、より効果的かつ効果的な予算が求められています。そこで本年度は、第2次総合計画の将来都市像の実現に向け毎年策定している実施計画と歩調を合わせた予算編成に臨むことになり、一層の行財政のスリム化に取り組みました。



安曇野市議会は3月20日、平成31年度予算を可決しました。

一般会計の予算額は

411億5千万円

昨年より8億8千万円の増額

歳入

市 税は、117億3195万円を計上しました。前年度比で5589万円の増額を見込んでいます。

個人市民税や法人市民税は、経済の緩やかな回復基調を反映し、また、固定資産税は新増築家屋や償却資産の増加により、それぞれ増額を見込みました。市たばこ税は、健康志向の高まりと消費税率引上げの影響を考慮し減額を見込みました。

繰入金は、18億5665万円を計上しました。主な繰入は、財政調整基金5億6314万円、減債基金2億円、公共施設整備基金7億円、地域振興基金1億1807万円、ふるさと寄附基金1億9924万円などとなっています。

各種交付金・地方譲与税は、25億4960万円を計上しました。消費税率引き上げに伴い自動車取得税交付金が廃止され、環境性能割交付金

が新たに創設されるため、予算にもこれを反映しています。

地方交付税は、102億2000万円を計上しました。普通交付税については、合併に伴う加算措置（合併算定替）の段階的縮減を見込んだ上で地方財政対策における伸び率を加味し、前年度比で2億2000万円の増額を見込みました。特別交付税は前年度と同額を見込んでいます。

市債は、56億1700万円を計上しました。前年度比で4億4960万円の増額を見込んでいます。主な借り入れは、穂高広域施設組合新ごみ処理施設建設事業で13億70万円、たつみ、穂高、明科南など認定こども園建設事業で8億4420万円（合併特例債及び施設整備事業債）、新総合体育館建設事業で3億3960万円などです。また、臨時財政対策債は12億1700万円、前年度比2億8300万円の減額です。

平成 31 年度安曇野市各会計予算額一覧

単位：千円

会 計 名	平成 31 年度	平成 30 年度	対前年度比	対前年度比率 %
一般会計	41,150,000	40,270,000	880,000	2.2
特別会計	21,084,597	20,847,895	236,702	1.1
国民健康保険	10,507,526	10,470,426	37,100	0.4
後期高齢者医療	1,167,317	1,134,360	32,957	2.9
介護保険	9,354,568	9,215,417	139,151	1.5
上川手山林財産区	1,825	2,143	△ 318	△ 14.8
北の沢山林財産区	2,656	951	1,705	179.3
有明山林財産区	3,626	953	2,673	280.5
富士尾沢山林財産区	1,125	771	354	45.9
穂高山林財産区	1,239	935	304	32.5
産業団地造成事業	32,412	1,153	31,259	2711.1
有明荘	12,303	20,786	△ 8,483	△ 40.8
総 計（一般会計+特別会計）	62,234,597	61,117,895	1,116,702	1.8
※昨年まであった「観光宿泊施設特別会計」は、長峰荘の譲渡に伴い「有明荘特別会計」となりました。				
公営企業会計				
収益的收入	2,335,142	2,323,907	11,235	0.5
収益的支出	1,887,465	1,879,690	7,775	0.4
資本的收入	386,894	516,198	△ 129,304	△ 25.0
資本的支出	1,843,520	1,914,314	△ 70,794	△ 3.7
収益的收入	4,304,266	4,449,012	△ 144,746	△ 3.3
収益的支出	3,768,696	3,786,869	△ 18,173	△ 0.5
資本的收入	797,227	811,229	△ 14,002	△ 1.7
資本的支出	2,480,707	2,448,611	32,096	1.3

歳入予算の増減

